



平成 30 年 2 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社フルキャストホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長CEO 坂 卷 一 樹
(コード番号 4848 東証第一部)
問 い 合 わ せ 先 財務IR部長 朝 武 康 臣
電 話 番 号 03-4530-4830

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 2 月 9 日開催の取締役会において、下記のとおり平成 29 年 12 月 31 日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年 8 月 4 日公表)	前期実績 (平成28年12月期)
基準日	平成29年12月31日	同左	平成28年12月31日
1株当たり配当金	14円00銭	13円00銭	11円00銭
配当金の総額	530百万円	—	422百万円
効力発生日	平成30年 3 月 9 日	—	平成29年 3 月10日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、調整後当期純利益(※1)に対する総還元性向 50%を目標とし、株主への利益還元の実質化を図る方針であります。

今後も、収益力を強化し、経営効率の一層の向上を図ると共に、配当と自己株式取得を合わせた調整後当期純利益に対する総還元性向 50%を目標とした株主還元を実施することにより、調整後ROE(※2)20%以上を「企業価値の向上」を示す目標指標とし、その実現を目指してまいります。

当期の配当につきましては、調整後当期純利益に対する総還元性向 50%の考え方に基づき、1株につき14円(通期では、平成28年12月期比5円増配の1株あたり26円の配当)の期末配当を実施いたします。

加えて、平成30年2月9日に公表した「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」に記載の通り、調整後当期純利益に対する総還元性向 50%以上の株主還元を行うため、株式の取得価額の総額682百万円を上限に自己株式の取得を実施いたします。その結果、平成29年12月期における調整後当期純利益に対する総還元性向は51.1%以上となる予定であります。

なお、会社法第459条第1項に基づき剰余金の配当等を取締役会が決定する旨の定款変更を平成25年3月29日開催の第20期定時株主総会で決議しておりますので、当該内容につきましては第25期定時株主総会には付議いたしません。

※1 調整後当期純利益は、繰越欠損金に対する繰延税金資産の計上に伴う法人税等調整額の影響を除いた親会社株主に帰属する当期純利益を言います。

※2 調整後ROEとは、調整後当期純利益を基に算定したROEを言います。

3. 次期の配当について

次期の配当につきましては、継続的に調整後ROE20%以上の実現を目指し、調整後当期純利益に対する総還元性向50%の目標を堅持し、株主に対する利益還元を行う方針であります。機動的な利益還元を行うために、現時点では、配当または自己株式の取得両方を選択肢とし、配当予想については中間配当金：1株につき14円、期末配当金：1株につき14円、年間配当金：1株につき28円の予想としております。

基準日	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
配当予想(平成30年12月期)	14円00銭	14円00銭	28円00銭
当期実績(平成29年12月期)	12円00銭	14円00銭	26円00銭
前期実績(平成28年12月期)	10円00銭	11円00銭	21円00銭

※上記の配当予想は配当と自己株式の取得により調整後当期純利益に対する総還元性向50%を実現することを前提としております。

以 上